

科目名	エキゾチックアニマル				
担当教員	曾我李桜		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	前期前半、後期後半
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	現在飼育されている動物は、犬猫だけではないため、生体の特徴、飼育方法を理解する。 販売に携わる際には、飼育方法をアドバイスできるようになる。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	愛玩動物飼養管理士2級合格。飼い主に飼育アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩テキスト2巻				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ウサギ 飼養管理				
2	ハムスター 飼養管理				
3	モルモット 飼養管理				
4	フェレット 飼養管理				
5	チンチラ 飼養管理				
6	犬猫分類、歴史				
7	犬、猫の特徴				
8	犬猫と暮らす、環境				
9	犬猫のライフサイクル①				
10	犬猫のライフサイクル②				
11	犬猫の社会化				
12	しつけについて				
13	犬猫の毎日の生活 食事				
14	犬猫の発情、健康管理				
15	テスト+(解説)				
16	解説				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップで販売スタッフとして6年勤務				

科目名 グルーミング実習					
担当教員	稲田巴美		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	118
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング技術の習得。犬種ごとに安全なグルーミングが出来るようにする。グルーミングにより犬の生理や健康管理、衛生管理を行う。 1人1頭の犬をグルーミングを行う。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	グルーミングの流れを理解し、道具を正しく使い、グルーミングが出来る。120分の中で、シャンプー、ペイジング、ドライイング、爪切り、耳掃除、足裏の毛のカット、足回りが1人で出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミングの目的、流れ、注意点について 道具の名称、使い方について				
2	グルーミングデモンストレーション		実際のグルーミングを見て、犬の扱い方を学ぶ		
3	シャンプー犬での実習		2, 3人で1頭、足回り以外の作業を行う		
4	シャンプー犬での実習		時間よりも、丁寧な作業を意識して作業する		
5	シャンプー犬での実習		作業中の安全な保定を学ぶ		
6	シャンプー犬での実習		2人で1頭		
7	シャンプー犬での実習		足回りのカットを学ぶ		
8	シャンプー犬での実習		1つの作業時間を短くする		
9	シャンプー犬での実習		1人1頭、1人になった時の保定を学ぶ		
10	シャンプー犬での実習				
11	シャンプー犬での実習		時間を測り時間を意識させる		
12	シャンプー犬での実習				
13	シャンプー犬での実習		1人でも全ての作業を行う		
14	シャンプー犬での実習				
15	シャンプー犬での実習		部分カットを学びハサミの練習		
16	シャンプー犬での実習				
17	シャンプー犬での実習		シャンプーコースを120分で測る		
18	シャンプー犬での実習				
19	シャンプー犬での実習		クラブワン開始		
20	シャンプー犬での実習				
21	サロントリマーに向けた模擬授業		120分ですべて手を付ける		
22	サロントリマーに向けた模擬授業		時間内に余裕を持って終わらせる		
23	サロントリマーに向けた模擬授業				
24	サロントリマー検定				
25	サロントリマー検定				
26	カット犬での実習		シャンプーセットは午前には終わらせる		
27	カット犬での実習		後期に向け毛の長い子の練習		
28	カット犬での実習				
29	ブードルデモ (シャンプーからカットまで)		後期からのカットに向け準備		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップでトリマーとして3年勤務				

科目名						グルーミング実習					
担当教員		稲田巴美			実務授業の有無		○				
対象学科		ペット美容学科		対象学年		1		開講時期		後期	
必修・選択		必修		単位数		6		時間数		168	
授業概要、目的、授業の進め方		グルーミング技術の習得。犬種に合わせたグルーミングが出来るようにする。グルーミングにより犬の生理や健康管理、衛生管理を行う。 1人1～2頭の犬をグルーミングを行う(シャンプー犬、カット犬)。AMシャンプーセット、PMカット。対面授業で実施。 授業後に各教室フィードバックと、検定に向けて、個々に合わせた指導を行なう。									
学習目標 (到達目標)		全身カットが切れるようになる									
テキスト・教材・参考図書・その他資料											
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	カット犬での実習					シャンプー犬とカット犬のプロローの違いを学ぶ					
2	カット犬での実習					犬種ごとのカットを学ぶ					
3	カット犬での実習					顔カットから学ぶ					
4	カット犬での実習					プロローを伸ばす意識					
5	カット犬での実習										
6	カット犬での実習										
7	カット犬での実習					体、四肢カットを学ぶ					
8	カット犬での実習					一日二頭シャンプーをしスピードアップ					
9	カット犬での実習					カットを重点的に学ぶ					
10	カット犬での実習										
11	カット犬での実習					全身カットができるようになる					
12	カット犬での実習										
13	カット犬での実習										
14	カット犬での実習					プロローの強化					
15	カット犬での実習										
16	カット犬での実習										
17	カット犬での実習										
18	カット犬での実習										
19	カット犬での実習										
20	カット犬での実習										
21	カット犬での実習										
22	カット犬での実習										
23	カット犬での実習					一日で全身カットが全てできるようになる					
24	カット犬での実習					二年生につながるようカット技術のアップ					
25	カット犬での実習										
26	カット犬での実習										
27	カット犬での実習										
28	カット犬での実習					全身カットを2時間半で終わらせる					
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
実務経験教員の経歴		ペットショップでトリマーとして3年勤務									

科目名	グルーミング理論				
担当教員	磯部 孝則		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング実習を行う上でのグルーミングの目的、流れ、道具名、使用方法を学ぶ。 グルーミングを行う上での注意点を理解する。また、犬種についての知識も学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	犬種への理解を深め、犬種ごとに必要なグルーミング方法を選択できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インターズー ドッグ・グルーマーズ プロフェッショナル・ワークブック インターズー 最新犬種図鑑				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミングの目的、トリマーの心構えについて				
2	シャンプー剤の知識、グルーミングの流れ・注意点①				
3	グルーミングの流れ・注意点②、道具の使い方				
4	スタンダードの理解、体表の生理				
5	犬種について 1G、2G、3G		各グループの中の代表犬種について学ぶ		
6	犬種について 4G、5G、6G				
7	犬種について 7G、8G、9G、10G				
8	期末試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップでトリマーとして4年勤務、トリミングサロン経営4年				

科目名	コミュニケーション実践Ⅰ				
担当教員	稲田巴美		実務授業の有無	×	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>対面交流場面における「話す」行為において、相手の状況を正しく理解した上で、自分の意志を目的や場面に 応じた適切な表現でわかりやすく示し、効果的に相手に伝えることを学ぶ。 コミュニケーション検定初級合格を目指すために、対策授業を行い、合格点に達しない者は補講を行う。 対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>周囲の人と「話す」こと、「聞く」ことによって円滑なコミュニケーションをとることができる。 コミュニケーション検定初級合格ができる。</p>				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	株式会社サーティファイ コミュニケーション検定公式ガイドブック&問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コミュニケーションを考える、目的に即して聴く		P2-9		
2	傾聴・質問する		P10 -14		
3	目的を意識する、話を組み立てる		P15-22		
4	言葉を選び抜く		P23-29		
5	表現・伝達する		P30		
6	来客応対		P36-39		
7	電話応対		P40-43		
8	アポイントメント・訪問・挨拶		P44-48		
9	情報共有の重要性、チームコミュニケーション		P49-59		
10	接客・営業、クレーム対応		P60-71		
11	会議・取材・ヒアリング、面接		P72-82		
12	模擬問題		P84-99		
13	過去問題①		P100-115		
14	過去問題②		P116-131		
15	過去問題③		P132-148		
16	コミュニケーション検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。</p>			<p>コミュニケーション検定合格のために、毎回授業に出席する。</p>		
実務経験教員の経歴					

科目名	PC実習			
担当教員	安達 秀子	実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数
授業概要、目的、授業の進め方	Excelの理解を深め、自信をもって活用できる基本技能を身につける			
学習目標 (到達目標)	Excel表計算処理技能認定試験 3級 取得			
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Excel2021 クイックマスター 基本編 Excel2021問題集			
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・復習		
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Excelの基本 Chapter2 データの編集	画面構成、用語の確認 範囲選択 文字の入力、数値の入力		
2	Chapter2 データの編集 ●問題集 練習問題1【問題2】(1)~(3)	日付の入力、オートフィル、数式、合計関数 絶対参照、コピー・移動		
3	Chapter3 表の編集 ●問題集 練習問題2【問題2】(1)~(3)	セルの書式設定、表示形式		
4	Chapter7 関数	基本関数の意味と使い方(平均、最大、最小、数、順位)		
5	Chapter8 データベース機能 ●問題集 練習問題1【問題2】(4)~(6)、【問題3】	並べ替え、フィルター		
6	●問題集 練習問題2【問題2】(4)~(6)、【問題3】 Chapter5 グラフと図形の作成 Chapter6 ブックの利用と管理	グラフ作成・編集、ワークシート名の変更		
7	Chapter4 ブックの印刷 ●問題集 練習問題1 完成	ページ設定、グラフ作成・編集の基本、印刷範囲		
8	●練習問題 2~3	解説誘導しながら 答案解答作成		
9	●練習問題4~5	各人のペースで解答 巡回してチェック・ポイント解説		
10	●練習問題6~7	〃		
11	●練習問題8~9	〃		
12	●練習問題10、模擬問題2	〃		
13	●模擬問題3~4	〃		
14	●模擬問題5~6	〃		
15	●試験実施プログラム 模擬問題1	前問題振り返り 時間計測して実施、解答ファイル採点		
16	検定			

	評価方法・成績評価基準	履修上の注意
	<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>	<p>パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となる。基本的な操作の仕方、表計算やデータを利用する方法をしっかりとマスターしましょう。授業中に手く出来なかった事は休み時間を利用して練習してください。</p>
実務経験教員の経歴	一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた	

なります。パソコン
した簡単な資料作成
に分らない事や上
をしましょう。

科目名	PC実習				
担当教員	安達 秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	日本語文章入力のある程度の速さで、正確に行えるようにする Wordの理解を深め、活用できる基本技能を身につける				
学習目標 (到達目標)	Word文書処理技能認定試験3級程度の知識及び技術の習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Word2016 クイックマスター 基本編 Word文書処理技能認定試験3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Wordの基本		授業の目的の理解 Windows基本操作、基本知識の重要性		
2	Chapter2 文字の入力と編集の基本操作 Chapter3 文書の編集		日本語入力の基本操作の確認 正確な入力の重要性、コピー・移動の状況に応じた方法		
3	Chapter3 文書の編集		Wordにおける段落書式の重要性		
4	Chapter3 文書の編集 Chapter4 文書の印刷		C2～3で学習した内容を該当設問で確認		
5	Chapter5 文書の作成		タブ機能の重要性の理解、タブ設定とタブ挿入の理解 ルーラーの重要性の確認		
6	Chapter6 表を使った文書の作成		表作成・編集の基本の理解、操作に応じたりボンの確認 C4～6で学習した内容を該当設問で確認		
7	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成		オブジェクト作成・編集操作の基本の理解		
8	練習問題1		QMで学習した機能を確認しながら設問解答 実用目的の成果物として完成させる		
9	練習問題2～		「作成」ファイルと「編集」ファイルの保存の必要性、名前を付けて保存と上書き保存の理解の重要性		
10	練習問題		完成確認後、各自で次の練習問題に進む 練習問題2「編集」の確認と疑問点などの確認・回答		
11	練習問題		〃		
12	模擬問題		〃		
13	模擬問題		〃		
14	試験実施プログラム 模擬問題		プログラム操作方法・試験の流れの確認 画面配置に慣れる。解答ファイル採点		
15	試験実施プログラム サンプル問題		前問題振り返り 時間計測して実施 解答ファイル採点		
16	期末試験/検定		検定必須受験学科（飼育、DT、ビジネス、飼育ケア）は検定受験		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、文書作成の方法をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。			
実務経験教員の経歴	一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた				

しつけトレーニング実習					
科目名	しつけトレーニング実習				
担当教員	金子 真弓		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	1.犬のトレーニング実践を行う。 2.実際の道具やデモンストレーションを見る。 3.テキストやホワイトボードを使用し内容を説明。				
学習目標 (到達目標)	正の強化と負の強化を使ったトレーニング方法を理解し、実行できるようになる 犬と関わる上での必要な事や必要な物を理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	犬の問題はこうして直す「THE Tool Box」				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	・犬の観察・しつけとは？、問題行動とは？飼い主にとって好ましくない行動⇒好ましい行動として肯定文として説明				
2	・リーダー、アルファとは？上下関係、主従関係×、パピーの船酔いについて、所有欲について ・おもちゃで遊ぶことについて ・リードの持ち方、近くでリード、近くを歩く、回す	テキスト使用			
3	・飼い主の手を良いものに学習させる ・「ビーナッツバター療法」でケア時に条件付け、マズルコントロール、アルファロール× ・トレーニング⇒回す、オスワリ、フセ（誘導で）	テキスト使用			
4	・ケージ/クレートに関して（何故ケージが必要か？） ・オスワリ、フセ、ダテをそれぞれの姿勢から誘導 オスワリ⇒ダテ、オスワリ⇒フセ、フセ⇒ダテ	実際の道具を見せる、トレーニングの方法をデモンストレーション			
5	・犬を家族として迎える前に準備するモノは？ ・名前を教える、アイコンタクト、近くを歩く	実際の道具を一部見せる			
6	・犬を家族として迎える前に準備しておきたいコトについて どんな犬？成犬or子犬orオスorメス、犬種など ・実習：コングを作る（中に食べ物を詰める）、回す、横につける、アテンションなど				
7	・ストレスについて 3つの下、カーミングシグナルについて ・実習：立ち方について（パテンス良く立つ、犬側の肩に立ち犬側を向くこと）	テキスト使用			
8	・犬の行動問題について：原因は？犬種特性、身体の不快、先天的な要因、社会化不足などについて ・実習：Tタッチ、立ち位置（犬の肩の辺りに立ち、犬側を少し向く）、リードの持ち方				
9	・学習理論：報酬はランダムにしてい、誘導から合図をつける ⇒ハンドシグナル ・回す、オスワリ⇒フセをハンドシグナル、マッテ				
10	・ドイレトレーニングについて ・ハンドシグナルでオスワリ、フセ、回す、マッテ、Tタッチ	DVD鑑賞			
11	・合図を教えるトレーニングについて				
12	・嫌悪刺激を使ったトレーニング⇒ほめる（モチベーションを使った方法） ・自発的アイコンタクト、左右にご褒美を持った手を移動させてトレーニング				
13	セルダウン：飼い主の足元で大人しく落ち着く（フセの状態）、マグネットトレーニング：誘導とは異なり、全てのトレーニングの特	足元でフセのトレーニングのデモンストレーション			
14	・ボデイランゲージ、カーミングシグナルについて ・呼び戻し、近くを歩く（人がボール役になり、8の字で歩く）	DVD鑑賞			
15	・古典的条件付け（拒否条件付け、逆条件付け）、正の罰について罰とは？：嫌悪刺激 ・古典的条件付けでブラシ、手、ハンドタオルで触れる刺激に慣らす				
16	・散歩の引っ張りについて（ジェントルリーダー、ハルティ、イージーウォークハーネスについて）	実際の道具を見せてデモンストレーション			
17	・シェパードについて（人だけでクリッカーの練習）	トランプを使用して、人同士で練習			
18	・動画鑑賞：パピークラス、フリースタイルなど ・実習：クリッカートレーニング、犬がイスの上に前足を乗せる、イスの下に頭を入れる	モニターより動画鑑賞（実際の教室の様子など）			
19	・Tool Box：健康、環境を豊かにする、リーダーシップ、管理、妥協、原因を取り除く、系統的脱感作、ご褒美を取り除く ・ハンドシグナルのトレーニング（オスワリ、フセ、回す）	テキスト使用			
20	・Tool Box：両立しない行動にご褒美を与える、慣らす、関連付けの改善、嫌悪刺激、Tool Boxを使って、問題を解決を考える（8組に分かれて）、実習：呼び戻し	テキスト使用			
21	・シェパード（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング：クリッカー配布				
22	・シェパード②（クリッカートレーニング、基準が大きい場合は細かく分ける） ・人同士でクリッカートレーニング、犬でのシェパードデモ：イスの下に頭を入れる				
23	・シェパード③（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬にクリッカーでトレーニング				
24	・シェパード④（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬にクリッカーでトレーニング（オスワリ、フセでクリッカーする）				
25	・シェパード⑤（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬のクリッカーでトレーニング（イスの下に頭を入れる）				
26	・シェパード⑥（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬のクリッカーでトレーニング（イスの下に頭を入れる続き）				
27	・犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い（悪い）犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ ・行動に合図を付ける				
28	・犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い（悪い）犬のトレーニング、おもちゃ遊び				
29	・古典的条件付け、拒否条件付け、脱感作について				
30	・オペラント条件付けについて				
31	・呼び戻しについて				
32	・トリーツをランダムにしてルアーを無くすトレーニングについて				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
レポート提出100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	しつけインストラクターとして25年以上活動、「PUPS FRIENDS」主宰				

科目名	造形美術				
担当教員	磯部 孝則		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>ドッグマネキンをカットすることで、実際のトリミングのイメージをつかむ。また、道具の扱い方の練習を行う。</p> <p>立体のスタイルを作り上げる際に必要な観察力、想像力、形体を構成する力を学ぶ。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	トリミングに必要な技術と観察力を身に付け、個体それぞれのトリミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ペットライフ社 トリマーのためのベーシックハンドブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ラムクリップについて		トリミングの基本要素が集約されたもの。		
2	面と角について、シザーについて		面と角を理解する。シザーの正しい持ち方、動かし方を修得する。		
3	シザー動かし方練習 後肢フットライン		カットの時は、常に全体のバランスをしっかりとみて行う。		
4	前肢フットライン				
5	お尻周辺のカット				
6	お尻～アンギュレーション～飛節～飛節下のカット①				
7	後肢のカット、角取り				
8	お尻サイド、タックアップの位置決め				
9	ボディーサイドカット、アンダーカット、角取り				
10	前肢カット、角取り				
11	フロント①				
12	背線カット				
13	顔のカット①				
14	全体のバランスを見て仕上げ①				
15	全体のバランスを見て仕上げ②				
16	完成品 評価				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップでトリマーとして4年勤務、トリミングサロン経営4年				

科目名	動物飼育実習				
担当教員	佐山 恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	<p>実習前座学：実習前に必要な知識を伝え、なぜ行うのか理由から方法を覚えられるようにする 実習：座学で得た知識を実践する。到達目標を細かく刻み、自信を持ってもらう。 掃除においてはインターンシップと基本となる項目。 動物を触るだけが、仕事ではないため、率先して動ける人材へ。 対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	個別別の生活様式から正常と異常を見極め、適正な動物飼育ができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アレルギー調査、実習スタイルについて、飼育室の出入り方法		教員が見本となる、実習室への見学		
2	消毒や手洗いの実施について、犬について（PD、テキスト）		理由を明確に伝え納得させる、犬の触れ合い		
3	猫について（PD、テキスト）、管理帳の記入の仕方について		管理帳見本を配布し記入させる、猫の触れ合い		
4	小動物（ウサギ、モルモット、ハムスター）について		自作プリントを配布、小動物の触れ合い		
5	飼育室の見学（物の配置確認）、掃除の仕方、洗濯方法		先輩に指導を受ける、メモをとる		
6	病気の予防や診察について、日誌の書き方		日誌を実際に書いてもらう		
7	実習前の総確認、小テスト		実習に必要な技術を見直す		
8	フィードバック		覚え直し		
9	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ		
10	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ		
11	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ		
12	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ		
13	(実習) ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ		
14	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ		
15	期末試験（筆記）		正しい知識を覚えているか		
16	フィードバック		間違えたままにせず、確認を行う		
17	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ		
18	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ		
19	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ		
20	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ		
21	(実習) ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ		
22	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ		
23	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ		
24	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ		
25	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ		
26	(実習) ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ		
27	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ		
28	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ		
29	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ		
30	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ		
31	期末試験（筆記）		正しい知識を覚えているか		
32	フィードバック		間違えたままにせず、確認を行う		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			飼育経験のない動物もいることから、接触方法や飼育管理方法の違いについて習得し、実践する。苦手意識が出ないよう、わからないことをそのままにせず先輩や先生に質問し、自信をつけていく。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として9年勤務				

科目名	ビジネスマナー				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>組織、お客様、取引先などと良好な人間関係を保ちつつ、仕事の成果をあげるためにビジネスマナーを身につける。</p> <p>また、9月に受験をする社会人常識マナー検定に向けて、過去問題は宿題で行い、合格点に達しない学生は補講を行い、合格できる準備を整える。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	社会人常識マナー検定に合格できる、ビジネスマナーを身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社ウイネット 実践ビジネスマナー 公益社団法人全国経理教育協会 社会人常識マナー検定試験				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	仕事に取り組む心構え		P8-12 教務室入退室・書類の提出の仕方チェック		
2	報告・連絡・相談、会社の組織		P13-16 指示を受けて業務を遂行し報告するロールプレイング		
3	基本動作、言葉の遣い方		P18-30 お辞儀・椅子の座り方チェック		
4	受付の仕方、名刺の渡し方		P32-40 受付ロールプレイング		
5	取り次ぎの仕方、案内の仕方		P41-48 受付→応接室案内ロールプレイング		
6	応接室の案内の仕方、お茶の出し方、環境整備		P49-56 お茶出しロールプレイング		
7	電話の受け方、伝言メモ		P55-69		
8	電話のかけ方		P70-76 インターンシップ確認電話ロールプレイング		
9	慶事業務		プリント		
10	弔辞業務、お見舞い		プリント		
11	社内で使用する備品、郵便の取り扱い		プリント		
12	ビジネス文書とは、社内文書作成の仕方、メールの送り方		プリント iPad (スマホ) でメール作成送信添削		
13	社外文書作成の仕方		プリント PC (iPad) で社外文書作成提出添削		
14	お礼状の作成の仕方		プリント 直筆でお礼状作成提出添削		
15	期末試験				
16	期末試験、解答・解説				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的にロールプレイングに取り組み、提出物の期限は守ること。 インターンシップ前後に行う電話がけやお礼状作成など、マニュアル通り行えないことを理解し、臨機応変に対応できるように毎日の学校生活でもビジネスマナーを意識すること。		
実務経験教員の経歴					

科目名	解剖・生理学				
担当教員	東海林 愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の体の基本構造やはたらきをまず理解した上で、各組織での検査や代表的な疾患を把握する 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●動物の体のしくみやはたらきを理解することができる ●各組織における検査の種類や手技、代表的な疾患を把握し、ケアすることができる 				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	緑書房 ビジュアルで学ぶ 動物看護学[第2版]、緑書房 ビジュアルで学ぶ 伴侶動物解剖生理学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業概要、体の基本構造について		伴侶動物解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
2	外皮系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
3	運動器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
4	神経系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
5	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
6	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
7	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
8	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
9	呼吸器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
10	上部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
11	下部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
12	泌尿器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
13	内分泌系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
14	生殖器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			動物病院での実習や勤務を想定し、動物の体の基本構造から検査や疾病、看護師としての仕事も併せて履修する。 解剖生理学は難しい分野ととられがちなので、現場での経験などを踏まえながら、より身近に感じられるように意識する。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として13年勤務				

科目名	飼養管理士総論				
担当教員	曾我 李桜		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	動物が「命」あるものとし、「人と動物の共生」が必要となっている。そのための動物種の生態、管理や飼育方法について知識を身に付ける。また、動物に関連する法理についても学ぶ。 愛玩動物飼養管理2級の合格に向け、授業を行っていく。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	動物に関わる法律を理解し、動物種の生態・飼育方法をアドバイスできるようになる。 愛玩動物飼養管理士2級の取得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩動物飼養管理士2級教本				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	鳥類について 形態的特徴、飼養管理（インコ、オウム）		単元が終了した時点で必ず確認テストを実施		
2	鳥類について 飼養管理（フィンチ、ニワトリ、アヒル、ハト）				
3	鳥類について 繁殖、確認テスト				
4	からだの仕組み からだの成り立ち、栄養・酵素を取り入れる				
5	からだの仕組み 老廃物の排出、情報を取り入れる、情報伝達				
6	からだの仕組み 確認テスト				
7	愛玩動物飼養管理士の社会活動				
8	愛玩動物飼養管理士とは				
9	愛玩動物飼養管理士について 確認テスト				
10	動物愛護論Ⅰ 海外と日本について				
11	動物愛護論Ⅰ 動物愛護運動について				
12	動物愛護論Ⅰ 確認テスト				
13	人と動物の関係学①				
14	人と動物の関係学②				
15	人と動物の関係学 確認テスト				
16	期末テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップで販売スタッフとして6年勤務				

科目名	就職実務Ⅰ				
担当教員	稲田巴美		実務授業の有無	×	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかりと理解した上で就職活動を進めていく。 身だしなみセミナー、求職登録面接、就職研修、インターンシップを通して、翌年（翌々年）の就職活動を意識する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	就職活動の心構えと流れを知ることができる。 自分と職業を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	これからどう生きていくか、一生でどのくらい稼げるのか、どんな生活を送りたいか、社会はどんな人材を求めているのか		プリント		
2	チャンスを逃がさない、働く理由を考える		プリント		
3	伝わる文章の書き方、相手を納得させる論理力、構成を考える		プリント		
4	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		プリント		
5	BtoBとBtoCの違いを知る、業界について考える、職種について考える		プリント		
6	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方、インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方		プリント		
7	求職票作成、自己PR作成、面接練習①		個別作業		
8	求職票作成、自己PR作成、面接練習②		個別作業		
9	求職票作成、自己PR作成、面接練習③		個別作業		
10	身だしなみセミナー、求職登録面接		女子メイクセミナー、男子身だしなみセミナーを受講 求職登録面接を受ける		
11	インターンシップ履歴書作成の仕方		プリント		
12	企業研究の仕方、志望動機の書き方		プリント		
13	履歴書作成、志望動機作成①		個別作業		
14	履歴書作成、志望動機作成②		個別作業		
15	インターンシップ日誌の作成の仕方、身だしなみについて		プリント		
16	就職研修		インターンシップに向けての心構えと問題事例、また今後の就職活動に向けての心構えを学ぶ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備をしておくこと。		
実務経験教員の経歴					

科目名	人と動物の関係学				
担当教員	山崎 恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	現在、国際的に動物愛護がどのように進んでいるのか？日本の現状は？今後取り組んでいく課題は何なのか？を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	日本や世界の動物業界の現状や動物福祉のあり方について理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物の代弁者になることについて				
2	真の動物愛護とは				
3	ブリーディングの問題				
4	飼い主の責任				
5	動物の死とペットロス				
6	シェルターワーク				
7	動物虐待				
8	災害時の動物				
9	犬のデイケア				
10	犬猫の行動学				
11	Tタッチ理論				
12	Tタッチ実践		特別講義		
13	動物愛護教育				
14	動物保護活動				
15	期末試験				
16	エコ・ツーリズム				
17	動物愛護法				
18	アニマル・エシックス（実験動物・産業動物）				
19	アニマル・エシックス（展示動物）				
20	アニマル・エシックス（補助犬）				
21	安楽死とペットロス		特別講義		
22	動物愛護法と動物の福祉		特別講義		
23	期末試験				
24	動物との共生				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての授業に出席し、かつ毎回のテーマごとにレポートを提出すること。		
実務経験教員の経歴	一般社団法人アニマル・リテラシー総研理事				

科目名	動物関係法規				
担当教員	菅井 光代		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物取扱現場及び、公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として順守の精神を養う。 愛玩動物飼養管理士2級合格へ向けて、検定出題範囲の関連法について理解を深める。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	愛玩動物飼養管理士2級合格 動物に関連する法規範と倫理を理解することで、動物取扱業者における業務を円滑に行えるようにする。 法規範に基づく疾病予防等の飼い主義務について飼い主への助言が出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント、レジュメ 愛玩動物飼養管理士2級第1巻				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	法規範とは何か、法規の概念を理解する		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
2	日本における法令の種類（法律、政令、省令・府令、条約、条例）		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
3	動物愛護法①		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
4	動物愛護法②		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
5	動物愛護法③		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
6	愛護法振り返りテスト		動物愛護法について中間のミニテストの実施		
7	動物愛護法④		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
8	動物愛護法⑤		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
9	動物愛護法⑥		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
10	愛護法振り返りテスト②		動物愛護法について振り返りテストの実施		
11	狂犬病予防法①		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
12	狂犬病予防法②		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
13	身体障害者補助犬法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
14	ペットフード安全法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
15	鳥獣保護法、ワシントン条約、ラムサール条約		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			本科目は愛玩動物飼養管理士2級合格に必要な法規範の知識を習得する。授業で配布する資料についても熟読が必要。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護助手として1年勤務				

科目名	動物看護概論				
	東海林 愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物病院での診療補助の概要を学び、生態を取り扱う業種において日常の健康チェックとケアの知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	動物の健康チェック項目、ケアの基本的な道具と方法について習得する。 動物病院での基礎的な知識を身に付け、病院に限らず、ショップ等の店舗はもちろん飼い主対応にも役立てられる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	エデュワードプレス発刊 動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物病院業務について 動物を看護すること		パワーポイント資料		
2	動物の保定		パワーポイント資料、ぬいぐるみ		
3	身体検査とバイタルチェック		ぬいぐるみ、聴診器、体温計		
4	消毒、滅菌		消毒液、雑巾		
5	シリンジの扱い方/投薬方法		シリンジ		
6	投薬/点眼/点耳/エリザベスカラーの装着		ぬいぐるみ、投与薬		
7	検体処理（尿、便、血液）		検体		
8	尿検査		尿検査キット		
9	糞便検査（寄生虫卵検査）		寄生虫卵一覧表、寄生虫標本		
10	血液検査（塗抹作成と白血球分類）		塗抹見本		
11	レントゲン検査（ポジショニングと防護）		ぬいぐるみ		
12	手術準備（手術器具名称）		手術器具		
13	マイクロチップ		マイクロチップ見本		
14	受付業務（証明書発行）		ワクチン証明書、カルテ		
15	まとめ				
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			動物病院への就職も視野へ入れて幅広く知識を身につける		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として13年勤務				

科目名 トリミング理論					
担当教員	磯部 孝則		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	各犬種ごとのペットカットのトリミングスタイルを学ぶ。 ペットカットには、決まりがないため、まずはスタンダードを理解する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	各犬種ごとのトリミングスタイルを理解し、グルーミング実習にて実践が出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インターズー ドッグ・グルーマーズ プロフェッショナル・ワークブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	トリミングの目的、ペットカットとショークリップの違い				
2	トリミング方法と道具について、アウトラインカットについて				
3	ボメラニアンの子猫カット、プードルのラムクリップ				
4	プードルのベアカットについて、マルチーズのペットカット				
5	シーズーのペットカット、ヨークシャーテリアのペットカット				
6	シュナウザーのペットカット				
7	ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリアのペットカット アメリカン・コッカーのペットカット、イングリッシュ・コッカーのペット カット、スコティッシュ・テリアのペットカット				
8	期末試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップでトリマーとして4年勤務、トリミングサロン経営4年				

科目名	コミュニケーション実践Ⅱ				
担当教員	山田 佳枝		実務授業の有無	×	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	1年次に勉強したビジネスマナーを復習し、社会人になる準備を始める。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	社会人としてふさわしい立ち居振る舞いを身につける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	内定先への暑中見舞い・年賀状の書き方		プリント		
2	社会人になってからのマナー（日常のマナー）		プリント		
3	社会人になってからのマナー（身だしなみ、敬語）		プリント		
4	社会人になってからのマナー（備品の名称、使い方）		プリント		
5	社会人になってからのマナー（メール、ビジネス文書）		プリント		
6	社会人になってからのマナー（接待）		プリント		
7	社会人になってからのマナー（慶弔業務）		プリント		
8	社会人になってからのマナー（退職）		プリント		
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			書類作成や個別面談をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。		
実務経験教員の経歴					

科目名	就職実務Ⅱ				
担当教員	山田 佳枝	実務授業の有無	×		
対象学科	ペット美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかりと理解した上で就職活動を進めていく。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	企業研究の方法を知ることができる。 企業訪問や就職試験について知ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動画で学ぶ 就活ナビ				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	就職活動の流れ、必要書類作成について	・就職活動の基準、提出書類の種類、流れを知る ・履歴書の学歴や検定欄の更新			
2	求人検索の方法、求人票の見方	・求人検索サイトを知る ・求人票を見ながら項目ごとの意味を知る			
3	合同企業ガイダンス・会社訪問の心構え、準備	・合同企業ガイダンスへの参加に向けた準備 ・企業研究をどのように行うか知る			
4	面接のマナー、面接の形式	動画5-2～3			
5	コミュニケーションは「きく」から始まる、「話す」は「全身表現」	動画4-1～2			
6	日本語の発声法、緊張は友達、リズミカルに話す	動画4-3～5			
7	ディスカッションの基礎、筆記試験対策	動画5-4～5			
8	内定お礼状の書き方	プリント			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		個別面談を行うこともあるので、毎回授業に出席すること。就職関係の提出物などの遅れがないようにすること。			
実務経験教員の経歴					

科目名	異文化研究（海外研修）				
担当教員	山田 佳枝		実務授業の有無	×	
対象学科	ペット美容学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	<p>異国の文化（言語、気候、風習、歴史など）を研究することで日本との違いなどを考察する。</p> <p>また、実際に海外に行き異国の文化に触れることで理解を目指す。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標（到達目標）	異国の文化について理解を深めることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	無し				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	飛行機にて移動		パスポートの申請、飛行機の搭乗を経験する		
2	現地到着、研修1日目		現地での食事、お金の支払いなどを体験する		
3	研修2日目		現地での簡単な会話を行いながら文化に触れる		
4	研修3日目		現地で様々な体験を通して文化に触れる		
5	研修4日目、日本へ帰国				
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>					
実務経験教員の経歴					

科目名	公衆衛生学				
担当教員	東海林 愛美	実務授業の有無	○		
対象学科	ペット美容学科	対象学年	2	開講時期	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	
授業概要、目的、授業の進め方	各種微生物の基礎知識の習得、及び消毒・滅菌について理解をし、感染症についての知識を対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	各種微生物の基礎知識の習得、及び消毒・滅菌について理解をし、感染症についての知識をた、ワクチンについて飼い主に説明できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ビジュアルで学ぶ動物看護学				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・授業			
1	公衆衛生学を学ぶ意義 感染とは	テキスト、資料の使用			
2	微生物 微生物とは、原虫	テキスト、資料の使用			
3	微生物 真菌、細菌、ウイルス、プリオン	テキスト、資料の使用			
4	洗浄、消毒と滅菌（洗浄・消毒・滅菌の違いとその特徴）	テキスト、資料、消毒薬見本の使用			
5	洗浄、消毒と滅菌（消毒・滅菌の方法と使い分け）	テキスト、資料、消毒薬見本の使用			
6	免疫学 免疫機構、抗原と抗体、免疫性疾患、アレルギー	テキスト、資料の使用			
7	免疫学（ワクチンの種類／ワクチンで予防できる感染症／ワクチン接種プログラムと副反応）	テキスト、資料の使用			
8	感染症 ウイルス①（犬の病気）	テキスト、資料の使用			
9	感染症 ウイルス②（猫の病気）	テキスト、資料の使用			
10	感染症 細菌、真菌、寄生虫①（外部寄生虫）	テキスト、資料の使用			
11	感染症 寄生虫②（内部寄生虫）	テキスト、資料の使用			
12	感染症 寄生虫③（内部寄生虫）	テキスト、資料の使用			
13	人獣共通感染症①	テキスト、資料の使用			
14	人獣共通感染症②	テキスト、資料の使用			
15	期末試験				
16	公衆衛生学まとめ				

	評価方法・成績評価基準	履修上の注意
	成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	小テストを実施しながら理解度を確認する
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として13年勤務	

科目名	動物栄養学			
担当教員	稲川 祥子		実務授業の有無	○
対象学科	ペット美容学科	対象学年	2	開講時期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数
授業概要、目的、授業の進め方	動物の健康維持に必要な栄養素を学び、その基礎知識を活用して各論の学習に進む。まずはイヌとネコの六大栄養素についての知識を、動物の生理学に立脚した栄養学を学び、様々なペットフードやパンフレットに記載されている専門用語を理解し、飼い主相談および指導を行う際の基礎知識を習得する。 対面授業で実施。			
学習目標 (到達目標)	栄養学総論に基づいて、注意すべき食材を知り、必要エネルギー量の指導ができ、必要な栄養素の違いが説明でき、ライフステージ別の栄養指導ができることを目的とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料	(株) インターズー発行 ビジュアルで学ぶ動物看護学			
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・授業後学習	
1	三大栄養素		愛玩動物飼養管理士課題報告問題集	
2	五大栄養素		愛玩動物飼養管理士課題報告問題集	
3	犬猫のペットフードの種類と目的		ペットフードサンプル	
4	エネルギー計算		√付き電卓	
5	ライフステージ別の栄養管理		哺乳瓶、ミルク、介護用品	
6	与えてはいけない食材、ペットフード安全法		環境省HP資料	
7	エキゾチックアニマルのペットフードの種類		ペットフードサンプル	
8	期末試験		筆記試験	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			解剖生理の復習、小テストを実施し、理解度を高める。	
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として5年勤務			

後期

16

準備のため、ま
総論として学
主に適切な栄養

イヌとネコに必
して学習する。

備考

参照し小テスト

参照し小テスト

確認する。

科目名						グルーミング実習Ⅲ					
担当教員		坂井田 千佳子		実務授業の有無		○					
対象学科		ペット美容学科		対象学年		2		開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数		12		時間数		288	
授業概要、目的、授業の進め方		グルーミング技術の習得。犬種ごとに安全なグルーミングが出来るようにする。グルーミングにより犬の生理や健康管理、衛生管理を行う。 1人2頭の犬をグルーミングを行う。(シャンプー犬、カット犬) 対面授業で実施。(各実習室最低3人) 授業後に各教室フィードバックと、検定に向けて、個々に合わせた指導を行なう。									
学習目標 (到達目標)		後期に向けて、120分でカット犬種のペットクリップを目指す。(サロントリマー検定2級レベル)									
テキスト・教材・参考図書・その他資料											
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	クラブWaNの接客の練習。クラブWaNのカット犬種のカット。					カットスタイルの提案も含めた接客の練習を行なう。オーダーに合わせたペットクリップを行う。					
2	クラブWaNのカット犬種のカット。 カット犬種の強化。					カットスタイルの提案も含めた接客を行なう。 カット犬種メインの実習以降。					
3	様々なカット犬種を行なう。					様々な犬種が出来る様に実習を行なう。					
4	1日2頭の練習を行なう。(S犬、C犬)					シャンプー犬、カット犬それぞれ時間内に仕上げる。					
5	仕上りを強化する。					カット犬種の仕上りを強化する。					
6	仕上りを強化する。					カット犬種の仕上りを強化する。					
7	カットを時間内に仕上げる。					120分で全身カットを行なえる様に時間を測り作業を行なう。					
8	カットを時間内に仕上げる。					120分で全身カットを行なえる様に時間を測り作業を行なう。					
9	カットを時間内に仕上げる。					120分で全身カットを行なえる様に時間を測り作業を行なう。					
10	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト					テスト形式120分で全身カットを行なう。					
11	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト					テスト形式120分で全身カットを行なう。					
12	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト					テスト形式120分で全身カットを行なう。					
13	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト					テスト形式120分で全身カットを行なう。					
14	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト					テスト形式120分で全身カットを行なう。					
15	期末試験					120分で全身カットを行なう。					
16	期末試験					120分で全身カットを行なう。					
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
実務経験教員の経歴		動物病院で動物看護士トリマーとして10年、トリミングサロンでトリマーとして2年、ペット保険企業で1年勤務									

科目名						グルーミング実習Ⅳ					
担当教員		坂井田 千佳子		実務授業の有無		○					
対象学科		ペット美容学科		対象学年		2		開講時期		後期	
必修・選択		必修		単位数		12		時間数		288	
授業概要、目的、授業の進め方		グルーミング技術の習得。犬種ごとに安全なグルーミングが出来るようにする。グルーミングにより犬の生理や健康管理、衛生管理を行う。 1人2頭の犬をグルーミングを行う。(シャンプー犬、カット犬) 対面授業で実施。(各実習室最低3人) 授業後に各教室フィードバックと、検定に向けて、個々に合わせた指導を行なう。									
学習目標 (到達目標)		サロントリマー検定2級内容の習得と検定合格。(120分) サロントリマー検定1級内容の習得と検定合格。(100分)									
テキスト・教材・参考図書・その他資料											
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	仕上がり強化する。					仕上がり強化して作業を行なう。					
2	時間を意識して作業を行なう。					100分で全身カットを行なえる様に時間を測り作業を行なう。					
3	時間を意識して作業を行なう。					100分で全身カットを行なえる様に時間を測り作業を行なう。					
4	サロントリマー検定に向けての犬種強化。					検定犬を選定。					
5	サロントリマー検定に向けての犬種強化。					検定犬を選定。					
6	カット時間を意識して作業を行なう。					100分で、全身カットを行う練習。					
7	カット時間を意識して作業を行なう。					100分で、全身カットを行う練習。					
8	サロントリマー検定に向けた模擬テスト					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
9	サロントリマー検定に向けた模擬テスト					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
10	サロントリマー検定に向けた模擬テスト					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
11	サロントリマー検定に向けた模擬テスト					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
12	サロントリマー検定に向けた模擬テスト					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
13	サロントリマー検定					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
14	猫グルーミング/期末試験に向けた模擬テスト					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。 猫のグルーミングを行なう。					
15	猫グルーミング/期末試験に向けた模擬テスト					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。 猫のグルーミングを行なう。					
16	期末試験					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
実務経験教員の経歴		動物病院で動物看護師兼トリマーとして10年、トリミングサロンでトリマーとして2年、ペット保険企業で1年勤務									

科目名	ハーブセラピー実習			
担当教員	東海林 愛美	実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科 サロントリマー・ペットエステコース	対象学年	2	開講時期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数
授業概要、目的、 授業の進め方	働きや使い方など基礎知識を学び、ハーブをペットとの生活に取り入れる方法を学ぶ。 対面授業で実施。			
学習目標 (到達目標)	ペットグッズに活用できる人材になる。			
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ホリスティックケア・カウンセラー養成講座vol1、プリント配布			
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・仕		
1	ハーブの概要（意義、働き、使い方、注意点） ハーブティーの試飲	好みのハーブティを探し自分の状態を知る		
2	ハーブ石鹸	ハーブ石鹸の制作		
3	虫よけサシェ	犬の虫よけとして使用できるハーブを使う		
4	アロマストーン	アロマセラピー実習で制作したアロマ持		
5	ワックスバー	アロマセラピー実習で制作したアロマ持		
6	猫おもちゃに使用できるハーブ	おもちゃを各自制作し、中にハーブを入		
7	猫おもちゃに使用できるハーブ	猫に自作おもちゃを使って遊ばせてみる		
8	まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。				
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として13年勤務			

科目名	ドッグアロマセラピー実習				
担当教員	広川 美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科 サロントリマー・ペットエステコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	アロマセラピーとは、アロマ（芳香）とセラピー（療法）をあわせた言葉で、動物が本来持っている自然治癒力を高める働きをする。芳香植物から抽出した100%天然のエッセンシャルオイル（精油）には、種類により生体に作用を及ぼす様々な成分が含まれているので、これらを使用して身体や心の健康作りに活かそう、という自然療法の一つである。同時に良い香りに囲まれて楽しみながら学べるのも魅力の一つである。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	アロマセラピーの意味を理解し、アロマセラピーを実践することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホリスティックケアカウンセラーvol2 犬と猫のための自然療法				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アロマセラピーとは		犬に対してのアロマセラピー		
2	精油テキストと特徴と禁忌1		資料を使つての講義		
3	精油テキストと特徴と禁忌2		アロマ製作		
4	精油テキストと特徴と禁忌3		アロマスプレー作製①		
5	香りの歴史		ブレンドファクター、相性、アロマスプレー作製②		
6	精油の成分による特徴				
7	精油の抽出方法		バッチテストとOリングテスト、クレイバック		
8	精油の抽出部位による特徴				
9	アロマクリーム				
10	スメリングチェック		アロマセラピー動物取扱業に関する法律		
11	生体理論とアロマセラピーの導入1				
12	生体理論とアロマセラピーの導入2				
13	アロママッサージの手法とオイルトリートメント				
14	試験前対策				
15	筆記試験				
16	実技試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー10年、「PetGrooming&Comforts」主宰				

科目名	ハンドメイド実習				
担当教員	関谷 智子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科 サロントリマー・ペットエステコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>トリマーとして飼い主へ様々なアドバイスができることが重要となる。 その中で洋服選びサイズ等に関しても知識を持つことも必要となる。 授業の中では、パーソナルカラーについて学び、色への知識を深めていく。また各自服やアクセサリーの製作を行っている。</p>				
学習目標 (到達目標)	パーソナルカラーを理解し、将来飼い主へのアドバイスができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パーソナルカラーについて①				
2	パーソナルカラーについて②				
3	服を作る為にデザインとパターンについて学ぶ				
4	犬用の服制作①				
5	犬用の服制作②				
6	犬用の服制作③				
7	リボン・チョーカー・首輪等のアクセサリー制作①				
8	リボン・チョーカー・首輪等のアクセサリー制作②				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	パタンナー経験もあり服飾専門学校教員歴15年以上				

科目名	ねこうさぎケア実習				
担当教員	豊崎 美穂		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット美容学科 ねこ・うさぎグルーミングコース	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	うさぎのケア、グルーミング方法について学ぶ				
学習目標 (到達目標)	うさぎのグルーミング、ケアができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	うさぎとは(生態、品種、立ち位置) 授業評価について		座学		
2	ケアで見るところ、性別の違い、皮膚の違い、病気について うさぎのグルーミング(抱っこ、保定方法、グルーミング道具、流れ) うさぎの観察		座学		
3	うさぎのグルーミング(抱っこ、保定、爪切り)		座学→実習室(GM道具一式持参)		
4	ねこのグルーミング方法の説明、爪切り		座学→実習室		
5	ねこのグルーミング①				
6	ねこのグルーミング②				
7	ねこのグルーミング③				
8	期末試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院でトリマーとして10年、ペットショップトリマーとして3年勤務				

科目名	猫概論				
担当教員	平石 理恵	実務授業の有無		×	
対象学科	ペット美容学科 ねこ・うさぎグルーミングコース	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、 授業の進め方	「猫」について、猫種と特徴、行動、健康管理、生活、トレーニングを学ぶ。 また、猫に関する環境やそれに関する商品の知識を身に付け、プレゼンを行う。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	猫に関する幅広い知識を身につけ、猫との生活において必要な健康管理、環境（食、住）についてアドバイスができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	①猫を極める本（インターズー）、②猫とのくらしが変わる遊びのレシピ（誠文堂新光社）、③まるごとわかる猫種大図鑑（学研）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	猫を取り巻く現状		パワーポイント資料		
2	猫の種類と特徴①		パワーポイント資料、猫種図鑑		
3	猫の種類と特徴②		パワーポイント資料、猫種図鑑		
4	猫の種類と特徴 小テスト		自身で猫を3種類選択し紹介スライドを作成、発表する		
5	身体づくり		パワーポイント資料		
6	猫のコミュニケーション：猫同士のコミュニケーション方法		パワーポイント資料		
7	猫の選び方と飼い方		パワーポイント資料		
8	猫の健康管理①：猫の健康チェック		パワーポイント資料		
9	猫の健康管理②：食事と飲水		パワーポイント資料		
10	猫の健康管理③：トイレに関する問題		パワーポイント資料		
11	猫の健康管理④：病気について		パワーポイント資料		
12	猫との生活で問題となる行動		パワーポイント資料		
13	子猫について		パワーポイント資料		
14	ペットショップにおいて		パワーポイント資料		
15	筆記試験				
16	フィードバック		まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			猫に特化してさらに深く学ぶにあたって、1年次で学ぶ解剖学や生理学、基本的な飼育管理の知識を習得していることが前提である		
実務経験教員の経歴					